

震災救援活動始まる！No.1

2016.4.18
熊本震災
救援活動
ニュース

18日7時20分熊本に向け出発

21老福連の熊本地震救援活動第1弾として、(社福)こばと会中村事務局次長を始めとする5名が、4月18日早朝に支援物資を積んだ車両2台で熊本の「特別養護老人ホームたくまの里」へ向け出発しました。通常1時間30分ほどで着く工程ですが、植木IC～八代ICの通行留めによる交通渋滞の為、倍近くの時間を要しました。

現地は電気のみ通っていたもののガス・水道のインフラは止まった状態でした。職員も2交代シフトで出勤し、利用者のケアにあたっていました。また、1階の地域交流スペースとデイサービス(地震の発生後デイは一時休止)に90名の地域住民が避難しており、地域防災の拠点として限られた条件の中での支援活動を展開していました。

救援活動はこれからが本番です。現地と事務局で情報を集約しながら、復旧から復興までの支援をすすめてみましょう。



特養いきいき八田を出発



特別養護老人ホームたくまの里



地面の沈下によるひび割れ



断水のため利用者さんは多目的スペースでケア

4月19日より炊き出し支援開始します。

いきいき八田が21・老福連の現地本部になりました。大阪より、搬送の車やボランティアが届きました。電話・ファックスも届きはじめました。